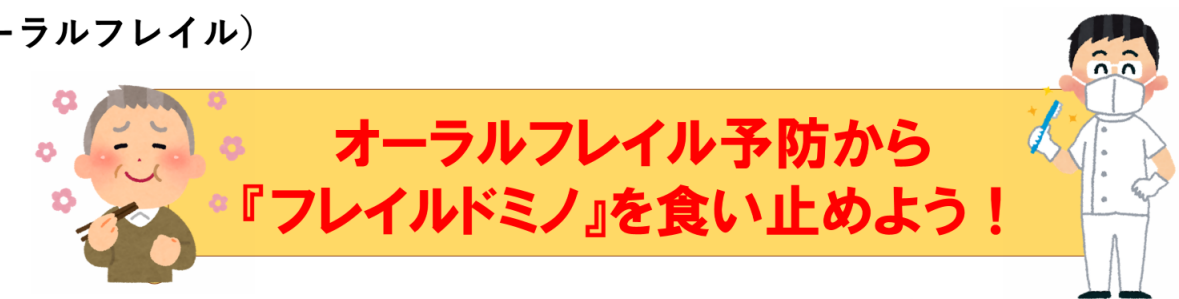


事業所における歯・口腔の健康づくりの取組み

*参考（オーラルフレイル）



1. 歯・口腔の健康と労働生産

歯・口腔の健康は身体の健康と密接に関係している。例えば、歯周病の炎症は、血管から侵入する菌により動脈硬化の進行や、狭心症や心筋梗塞のリスクを高めるほか、血糖値が下がりにくくなり糖尿病を悪化させる。

むし歯などのトラブルを抱えたまま仕事を続けていると、ケアレスミスの増加や集中力の低下につながり、労働生産性も低下することが報告されている。

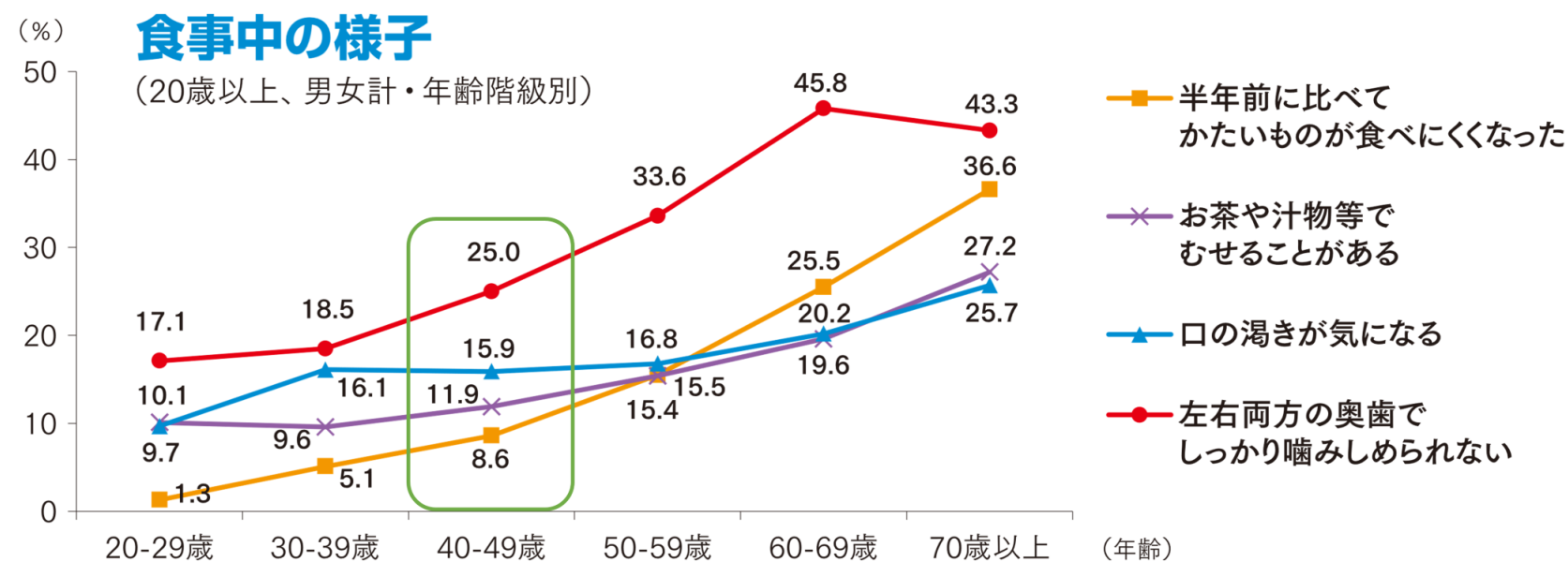
2. 目的

従業員に健康で長く働いてもらうためには歯・口腔の健康づくりが必要である。事業所に対して歯・口腔の健康づくりの取組み支援を行うことで、従業員の口腔状態の改善を図る。

3. 取組み内容

令和6年度から市内事業所を訪問する取組みを開始し、セミナーや口腔ケア指導を実施したほか、全国健康保険協会と連携し、歯周病予防の強化を実施している。

就労世代のオーラルフレイル実態 若い時から始まっています！



4. 具体的な取組事例

事例①

- ①業種：建設業（健康経営優良法人認定済）
- ②健康づくり担当者：健康管理担当者
- ③現在の取組み：禁煙、食生活、運動習慣（協会けんぽがサポート）
- ④課題：従業員の歯・口腔の健康に関する認識が低く、実践者が少ない。

1回目 初回面接

- 業務内容・職場環境・課題を確認し、セミナーの内容を相談
- 課題：歯みがきができない環境での取組方法
- 個人目標：①歯・口腔の健康づくりの大切さを理解する/再認識する
②各自が自分できる歯・口腔の健康づくりを実践・継続する
- 組織目標：歯・口腔の健康づくりを実現できる勤務環境を整える

担当者の
思い

2回目 セミナー

- 事前アンケート：従業員の意識調査
- セミナー：歯・口腔の健康の大切さ、全身との関係、喫煙との関係、むし歯・歯周病の原因、速食い（メタボリックシンドロームとの関係）、定期的な歯科受診の必要性、口腔ケアのポイント）
- 事後アンケート：セミナー後の意識変化

担当者の
素早い行動

3回目面接 (セミナー 2か月後)

- 変化：熱中症対策の飴をタブレットへ、飲料水をお茶・水に変更。
- 課題：歯みがきできない環境での対処法⇒食後にガムを噛む
- 新たな課題：従業員の口腔の状況がわからない
⇒**歯科健診の費用負担を検討**

事業所の
素早い対応

4回目面接 (セミナー 3か月後)

- 昼食後の歯みがきをする人の増加を目指す⇒**環境整備を検討**

厚労省モデル事業：歯周病簡易スクリーニング参加⇒**検討中**

事例②

- ①業種：小売業（健康経営優良法人認定済）
- ②健康づくり担当者：保健師
- ③現在の取組み：環境、食生活、運動習慣、禁煙、心の健康
- ④課題：健康意識が低い、速食い、事業所として歯・口腔の健康づくりに取組みたいが、予算がなく実施が難しい。

1回目 初回面接

- 業務内容・職場環境・課題を確認し、セミナーの内容を相談
- 課題：歯みがきができない環境での取組方法
- 目標：各自が自分でできる歯・口腔の健康づくりを実践する
- セミナーの内容、実技

2回目 セミナー

- 事前アンケート：従業員の意識調査
- セミナー：歯・口腔の健康の大切さ、全身との関係、歯周病、口臭、喫煙との関係、速食い（メタボリックシンドロームとの関係）、**身近で簡単に実践できること。**
- 実技：咀嚼チェックガム
- 事後アンケート：セミナー後の意識変化

3回目

- 歯科の啓発について提案
- 変化：「歯科チェック（歯科衛生士がCCDカメラで口腔内を撮影しその後保健指導を行う）の参加を検討中。